活動情報			
取組項目	体制整備構想の策定		
組織名	三区町環境保全隊	那須　管内	那須塩原　市

活動目的：体制整備構想(案)の策定

21 年 4 月に設置した「体制整備構想策定」のための運営委員会も 6 回を数え、将来体制の見通しを明らかにするための家族構成・年齢構成等の調査もほぼ終了、12 月 18 日の運営委員会に於いて**「共同活動の将来像」「将来展望を実現するために取組む具体的方策」**の**(案)**を、これまでの共同活動の実績と活動を通していただいた多くの意見、そして運営委員会の話し合いの結果等も踏まえて作成し運営委員会に提示した。

来年 1 月には全体について再度協議し、2 月に最終案を決定することになっている。6 回の運営委員会の出席率は約 86%で、真剣に話し合いを進めてくれた委員の皆さんに感謝している。18 日の運営委員会では、19 年度～21 年１２月までの主な活動をスライドで振り返り、活動そのものが確実にレベルアップしていることを確認し、残された二年間のさらなるシベルアップとその後の継続的活動をするための協議に取組むことを全員で確認しました。

（添付様式6）

三区町環境保全隊　体制整備構想（案）

（農地・水・環境保全向上対策（共同活動支援交付金）に係る体制整備構想（案））

1．共同活動の現状

（1）活動組織の構成員の役割分担

構成員	
農業者(生産組合)	農地・水・環境保全活動の中の基
営農活動グループ	環境負荷低減に向けた取組を広く
地区行動隊(非農業者)	基礎活動と農地・水向上活動の一
三区子供会育成会	農村環境向上活動を他の構成員
福寿会(老人会)	農村環境向上活動を他の構成員
農協女性会	農村環境向上活動を他の構成員
ひまわり会	農村環境向上活動を他の構成員
三区消防団	農地・水向上活動の一部と農村環
4分水管理委員会	基礎活動と農地・水向上活動の一
刈込どじょっこ会	農村環境向上活動を他の構成員
そすいの郷三区部会	農村環境向上活動を他の構成員
那須野ヶ原土地改良区連合	活動全般への指導・助言・資材等
那須疏水土地改良区	活動全般への指導・助言・資材等

（2）活動組織の意思決定の方法

（3）活動組織の資金計画

項目		主な交付金の
基礎部分の活動に要する経費		水路・農道の草刈機替刃の
誘導部分	農地・水向上活動に要する経費	水路フェンス等水利施設の
	農村環境向上活動に要する経費	生態系保全に関する啓発・
活動組織の管理運営に要する経費		活動組織の管理運営に係わ
合　計		

2．将来の体制の見通し

（1）活動の担い手の年齢構成等（現状）

構成員	人数（人）	平均年齢（歳）	65歳以上の割
農業者			
自治会			
農協女性会			
ひまわり会			

（2）高齢化を踏まえた概ね10年後の推定

3．共同活動の将来像

（1）当地における農地・水・環境が有する社会

（2）将来展望

4．地域農業の担い手の育成・確保

内　容

将来展望を実現するために取り組む具体的方策

①当地域の、歴史的シンボルである那須疏水と緑豊かな那須の大地を将来に亘って保全するために、地域住民の投票で決定した地域の合い言葉(スローガン)“好きです！那須疏水と緑豊かな郷・三区町”、“守ります！那須の大地と清らかな疏水”を、未来永劫地域住民の心を一つにするための言葉として浸透させる。

②三年間で築き上げた“人と人との絆”をさらに確かなものにするための取組として、残された二年間の活動をさらにレベルアップすると同時に、バランスのとれた活動と新しい取り組みを実施する。

③増えつつある生き物の保護と生息できる環境づくりのため、地域の子供会育成会や小学校などと連携した生きもの調査や農業体験を通して、農業と農村環境のかかわりによる「命の大切さ」を学ぶ活動を実施する。

④活動組織の長期継続と体制強化を図るため、歴史的施設を守るために地域の有志が立ち上げた「歴史公園を守る会」と連携し、23年度10月までにNPO法人化することを目指す。

⑤地域の魅力や地域を守るための取組を、平成21年10月に開設したホームページを使って幅広く発信し、地域内外からの新たな参加者を募ると同時に、都市住民との交流を目的とした体制づくりに取り組む。

⑥農村における最大の課題」である「地域の農業、農村環境を誰が担い、守っていくのか」についても真剣な話し合いを進め、担い手育成のための取組として、さまざまな機会(研修等)を通して知識、技能向上の場を設ける。

⑦減農薬、減化学肥料・合鴨農法・JAS有機栽培農業という付加価値を、消費拡大の一つとして開設した三区町環境保全隊独自のホームページを使って、地域の環境負荷低減の取組を全国にPRし、販路の多様化を図るとともに先進的な営農で栽培された農作物の知名度をさらに向上させることを推進し、このことにより地域農業の担い手確保につなげていくための体制づくりを検討する。

⑧農村の自然景観を維持しながら、「“地域の和”で、花の咲く地域づくり」を推進するために、農道・水路沿いにマリーゴールドを植栽すると同時に、将来の景観も考慮した「スイセン・ヒガンバナ」等の多年生植物の植栽を積極的に実施する。

⑨地域内の歴史的施設の再発見を行いながら、地域の歴史と古き良き伝統を新住民に伝え、後世に残すための活動として三区町の今昔誌を発行する。